

## 筑豊炭田遺跡群

【目尾炭坑跡(飯塚市)】



飯塚市提供

明治14年にスペシャルポンプを導入して、筑豊で初めて蒸気機関による排水に成功した炭坑跡。写真は目尾炭坑跡の円形煙突台座。指定面積は11,814.52㎡。

【旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所及び救護練習所模擬坑道(直方市)】



直方市提供

筑豊石炭鉱業組合が、石炭流通の中心地であった直方に明治43年に建てた会議所(写真)。この建物の裏の敷地には、炭坑の深部採炭を背景とした爆発事故対策の救護練習坑道として、大正9年に造られた救護隊訓練所模擬坑道がある。指定面積は3,361.31㎡。



2



3



4

- 1 昭和33年当時の三井田川鉱業所伊田坑の全景。写真中央やや左にあるのが2本煙突
- 2 「炭坑節発祥の地」のほか、石炭記念公園内には歴史を物語る複数の石碑が立っています
- 3 2本煙突の下に広がる石炭記念公園
- 4 三井田川鉱業所伊田坑の跡地に建つ市石炭・歴史博物館。昭和58年に市石炭資料館としてオープンし、平成17年に改称しました



三井田川鉱業所伊田坑全景  
(昭和33年6月撮影)

1

# 国を支えた炭都

「筑豊炭田遺跡群」 国指定史跡へ

明治以降、戦前・戦後にわたり日本の近代化に貢献した「筑豊」で「石炭」というエネルギー源を生み出す役割を担った田川、飯塚、直方の3都。この地に残る当時の貴重な炭坑遺跡が、未来へ引き継ぐLEGACY(遺産)として、国の史跡に指定されました。



◀石炭記念公園内にある「炭坑夫之像」

### 田川市初の快挙

本市のランドマークである煉瓦煙突(2本煙突)と竪坑槽が立つ石炭記念公園を含む「三井田川鉱業所伊田坑跡(指定面積3万4千111.54㎡)」が、国の史跡に指

定されました。これは「三井田川鉱業所伊田坑跡」を含む「筑豊炭田遺跡群」が国の史跡指定を受けたことによるもので、本市初の快挙です。

筑豊炭田遺跡群は、炭坑開発が本格化した明治中期から昭和20年代にかけて遠賀川流域で開発された日本最大の炭田遺跡群です。これを構成する「三井田川鉱業所伊田坑跡」、「目尾炭坑跡(飯塚市)」、「旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所及び救護練習所模擬坑道(直方市)」は、いずれも筑豊炭田の発展に大きな役割を果たし、日本の産業革命の原動力となった極めて重要な遺跡です。特に三井田川鉱業所は、国内最大の出炭量を誇った筑豊炭田の中で最大規模の炭坑で、今回指定を受けた伊田坑跡は、明治期の日本3大炭坑のひとつです。

市教育委員会では、平成21年度〜平成27年度に遺跡の範囲や内容を確認する調査を実施。竪坑槽の操作を担っていた「巻上機室」や煉瓦煙突に付属した「ボイラー室」などの基礎遺構が確認され、遺構の時代変遷が明らかになったことが、今回の指定につながりました。

国の史跡指定を受けたことで、遺跡としての重要性はさらに大きくなり、確実な保存に取り組みことはもちろんのこと、教育や観光などの地域資源として活用することも、市の重要な責務となります。



## 筑豊炭田遺跡群リレー講座

筑豊炭田遺跡群の発掘調査の報告や今後の保存と活用などをみなさんにお知らせするため、田川市・飯塚市・直方市でリレー講座を実施します。

### 田川市会場

- とき 12月15日(土)13時30分～15時30分
- ところ 田川市民会館
- 内容 「三井田川鉱業所伊田坑跡の発掘調査」  
市石炭・歴史博物館 福本寛学芸員  
「文化遺産としての炭鉱」  
市石炭・歴史博物館 清水憲一副館長
- 申し込み・問い合わせ 市石炭・歴史博物館  
(☎44-5745)

### 飯塚市会場

- とき 平成31年1月19日(土)  
13時30分～15時30分
- ところ イヅカコミュニティセンター  
(飯塚市飯塚)
- 内容 「目尾炭坑跡の発掘調査」  
飯塚市教育委員会 八木健一郎さん  
「筑豊炭田遺跡群の文化財的価値」  
飯塚市歴史資料館館長 嶋田光一さん
- 申し込み・問い合わせ 飯塚市歴史資料館  
(☎0948-25-2930)

### 直方市会場

- とき 平成31年2月16日(土)  
13時30分～15時30分
- ところ 直方市中央公民館(直方市津田町)
- 内容 「旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所及び救護練習所模擬坑道の調査」  
直方市教育委員会 田村悟さん  
「直方市内の炭坑遺跡」  
筑豊近代化遺産研究会 榑正澄さん
- 申し込み・問い合わせ 直方市中央公民館  
(☎0949-25-2326)

※上記講師のほか関係者による対談も実施します。  
●申し込み・問い合わせ 直方市中央公民館  
(☎0949-25-2326)  
※各会場の定員は100人程度です。講座の内容は変更になる場合があります。申し込み方法など詳しくは問い合わせください。

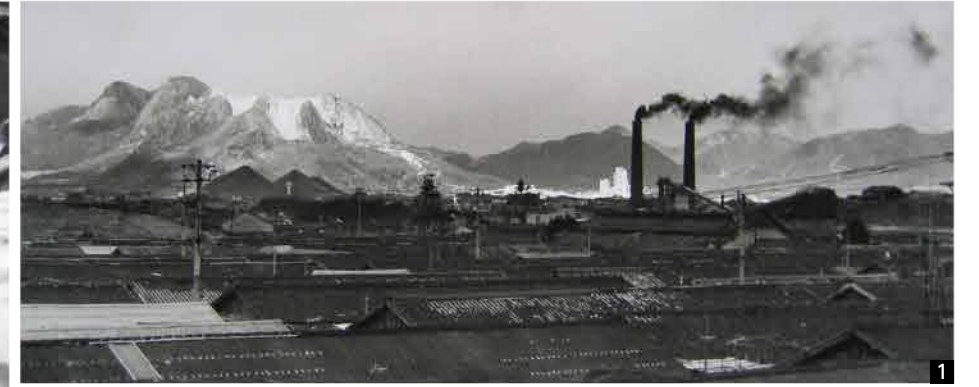
市石炭・歴史博物館企画展を開催中です

### 炭坑で働く・遊ぶ・生きる子どもたち

ユネスコ世界記憶遺産(世界の記憶)に登録された山本作兵衛翁の炭坑記録画で、当時の子どもたちの様子を紹介します。

- とき ~12月2日(日)※月曜日休館
- ところ 市石炭・歴史博物館

◆問い合わせ 市石炭・歴史博物館 (☎44-5745)



# 誇り高き 未来へのLEGACY

## 誇りと喜びを子どもたちに

戦後に電気技師として三井田川鉱業所に入り、閉山する昭和39年まで働きました。筑豊を代表する炭坑で働くということは大きな喜びで、今でも誇りに思っています。炭坑は、日々危険と隣り合わせの大変な現場で、命を落とししかけた事故に遭ったことは1度や2度ではありません。命がけて働き、炭坑の盛衰を経験した炭坑労働者として、これまでの歴史が国に認められたことは本当にうれしいです。この喜びと、誇りある歴史を子どもたちに伝えたいです。

### 橋本正勝さん

昭和元年、熊本県生まれ。三井田川鉱業所伊田坑で働きながら、田川写真同好会や三井田川写友会に所属し、炭坑の風景を数多く撮影しています。



## 歴史の熱を、次の時代へ

明治、大正、昭和という激動の時代を駆け抜けた三井田川鉱業所伊田坑は、昭和39年に閉山し、日本の近代化という大きな役割を終えました。しかし、ふるさと田川を支えるという役割を、今もなお担い続けています。  
現在では、遺跡を含む周辺が石炭記念公園として整備され、市民

の憩いの場となっています。同公園内には、市石炭・歴史博物館のほか、当時の炭坑住宅や生活様式などを再現した「産業ふれあい館」があり、展示や企画展などを開催して炭坑を含む市の歴史を伝え続けています。また「TAGAWAコイルメイン・フェスティバル」炭坑節まつり」をはじめ、音楽イベントなどさまざまな催しが開かれるなど、田川を盛り上げる拠点と

- 1 三井田川鉱業所伊田坑と炭坑住宅。煙を吐く2本煙突の奥には香春岳が見えます
- 2 青空にそびえ立つ現在の2本煙突
- 3 伊田坑の巻網点検の様子(橋本正勝さん撮影)
- 4 発掘された堅坑選炭機室
- 5 炭坑住宅を再現した産業ふれあい館
- 6 石炭・歴史博物館の屋外敷地には、当時の炭坑で実際に使われていた機械などを展示しています
- 7 石炭記念公園にある遊具で遊ぶ子どもたち
- 8 発掘調査の現地説明会で学芸員の話や参加者(平成26年2月)

市は、今回の国史跡指定を受け、史跡の確実な保存と活用のために、史跡のマスタープランとなる保存活用計画の策定に着手します。また、市石炭・歴史博物館での企画展や石炭記念公園のツアーなどを実施するほか、飯塚市、直方市との連携を強化し、史跡の価値や重要性をたくさんの人に伝える取り組みに力を入れます。  
ヤマの火は消えても、積み上げてきた歴史の熱は、次の時代を創るエネルギーです。ふるさと田川の歴史や遺跡は、みなさんの財産です。「国を支えた炭都、ここにあり」という誇りを胸に、歴史を子や孫に語り継ぎ、田川の魅力を世界に発信していきましょう。